

移住者と語る

やまぐちの 働き方と暮らし

vol.4

自分らしく、生きる。

見つかる、ふくらむ

やまぐちの暮らし。



やまぐちで暮らし、働く。

本州の最西端に位置する山口県。

豊かな自然や温暖な気候、

脈々と受け継がれる文化や伝統など

その魅力は数えればきりがありません。

そんな「やまぐち」に魅せられ、

移住される人たちが年々増えてきています。

「新しいことを始めたい」

「地域づくりに関わってみたい」

「いろんな人やモノに出会いたい」

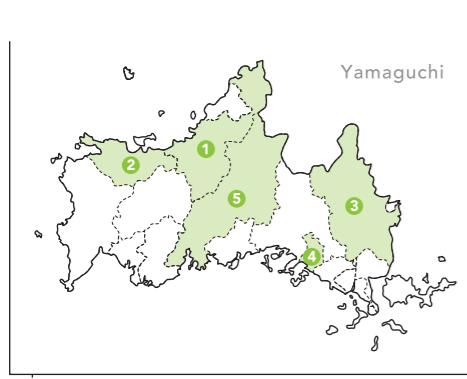
いろんな想いを胸に移住した人たちが

「やまぐち」で暮らし、働き、

自分らしい生き方を見つけて輝いています。



●山口県の基本情報



CONTENTS

山口とつながる

- case01 萩市 ▶ p.04
- case02 長門市 ▶ p.06

山口ではたらく

- case03 岩国市 ▶ p.08
- case04 下松市 ▶ p.10
- case05 山口市 ▶ p.12

山口をあじわう

- 瓦そば・けんちょう ▶ p.14



【人口】

1,309,651人(令和5年1月1日現在)

【気候・自然条件】

三方を海に開かれており、県内を中国山地が横断しているが、多くはなだらかである。瀬戸内側は雨が少なく温暖。日本海側から山間地域は冬は曇りが多く、積雪もある。また比較的地震が少なく、その回数の少なさは全国トップクラスである。

【産業】

瀬戸内側は重化学会社を中心とした工業、日本海側は第一次産業や観光業が主な産業である。また廃校や空き店舗などを利用したICT関連企業などの誘致にも、積極的に取り組んでいる。創業支援も手厚く、ポータルサイト、セミナーから助成金制度まで揃えている。

【交通】

東京から飛行機で山口宇部空港および岩国錦帯橋空港まで約90分、島根県にある萩・石見空港も利用圏内といえる。関西エアリから新幹線で2時間。東の広島、西の福岡などの近隣都市圏へも新幹線、高速道路ともにアクセスが良い。山間部を縦断する国道もある。



Column

地域おこし協力隊が
活躍できる「長門市」

長門市は地域おこし協力隊
がのびのびと活動できる移
住者ウエルカムの地域で
す。協力隊を卒業後、長門
市で活躍しているOBもた
くさんいます。

私たちと一緒に俵山を
盛り上げましょう!



まちのキーバーソン



藤永 義彦 (ふじなが よしひこ)さん
株式会社 SD-WORLD
代表取締役

山口県内で最初の地域経営会社となる
(株)SD-WORLDを立ち上げ、そば居
酒屋「たべ山」とゲストハウス「ねる山」
を経営。イベント開催などを通じた関係
人口の創出や交流の拡大を図り、生まれ
故郷である「俵山温泉」の活性化に取り
組んでいる。



ゲストハウス「ねる山」には、スタンダードな客室のほか、山口県内を中心に活動するフォトグラファーやペインターなどが手がけたコンセプトルームも。1階にはレンタルスペースもあり、取材当日はキッチンカーを営むご夫婦がポップアップストアを出店。

ていますが、その覚悟と責任感が、新しい動きを次々と生み出しています。
**若い力が作り出す、
『新』俵山温泉。**
藤永さんが始めた「たべ山」「ね
る山」は、現在はともにまちの拠点と
して、数々の出会いや交流を生む場と
なっています。「たべ山」を訪れた若者
と藤永さんが意気投合したことから、
新しいコミュニティとして、俵山温泉を
拠点にする「俵山ビレッジ」が誕生。県
内外から若者たちが集い、自分たちの
手で、古民家をリノベーションしたシエ
アハウスやゲストハウスが次々に作ら
れています。そして、それらの施設を
利用するため、また別の若者が足を運
んで…と人が人を呼ぶようになったの
です。藤永さんは「俵山ビレッジ」を
きっかけに私たちだけでは到底できな
いほどの大きな人の輪ができ、俵山へ
の移住者はさらに増えています」と嬉
しそうに話されます。
また俵山は、県内でも比較的早く、

といいますが、その覚悟と責任感が、新

たまにイベントを開催するなど積極的に活動し、藤永さんとともに俵山を盛り上げられています。地域おこし協力隊にとって、活動の成否を分ける一つは、地域とうまくやっていくかどうかです。(ここ俵山は、地域おこし協力隊卒業後も引き続き活動する先輩たちのおかげで、活動しやすい土壤が出来上がっています。

藤永さんは、「もつたない資源がたくさんある俵山はチャレンジしやすい地域です。まちづくりをしてみたい人や、自分で商売をしてみたい人、何か新しいことを始めた人にぴったりだと思いますよ」と話され、「俵山を元気にするにはまだまだ人手が足りません。一人でも多くの方に移住していただき、そこからさらに、いろんな人を呼び込んでいくってほしいです」と俵山のこれからについて語られました。

小さなきっかけから人が人を呼び、地域おこし協力隊をはじめ移住者の若い力により、活性化がどんどん加速する長門市俵山。小さな山あいの集落が起こす奇跡の「これから」が、楽しみでなりません。

藤永さんは、長門市役所を早期退職し県内初の地域経営会社「株式会社SD-WORLD」を設立され、俵山産の食材を使ったそば居酒屋「たべ山」やゲストハウス「ねる山」を運営。さらには俵山温泉の観光協会「たわらやまの旅と未来会議」の事務局を担われています。「たべ山」は空き店舗を、「ねる山」は閉館した旅館を「もつたないから」と引き受けられたのです。「もつたない」と言い出した藤永さんは、それを『言い出しつぺの法則』とおっしゃつらお一人が、藤永義彦さんです。藤永さんを突き動かしたのは、地元への危機感と『言い出しつぺ』としての責任感からでした。

藤永さんは、長門市役所を早期退職し県内初の地域経営会社「株式会社SD-WORLD」を設立され、俵山産の食材を使ったそば居酒屋「たべ山」やゲストハウス「ねる山」を運営。さらには俵山温泉の観光協会「たわらやまの旅と未来会議」の事務局を担われています。「たべ山」は空き店舗を、「ねる山」は閉館した旅館を「もつたないから」と引き受けられたのです。「もつたない」と言い出した藤永さんは、それを『言い出しつぺの法則』とおっしゃつらお一人が、藤永義彦さんです。藤永さんを突き動かしたのは、地元への危機感と『言い出しつぺ』としての責任感からでした。



奇跡の地、長門市俵山。 さらに人を呼んでくる。

case 02

山口と
つながる

長門市





「完熟まで育てて収穫するので、すごく甘いんですよ！」と平岡さん。規格外品は「加工品に使ってほしい」と事務所入口に設置した自販機で販売しているそう。



平岡さんと野間さんは、高専時代からの大親友。社名は二人の共通の趣味、バックカントリースキーの聖地「デナリ山」に由来するそう。「いつか憧れの山に行きたい」、「憧れの農業で食べていきたい」という2つの思いを重ねて名付けたのだとか。

だのも、戦略やコスト、収益性を考慮
だのも、戦略やコスト、収益性を考慮
だのも、戦略やコスト、収益性を考慮



かわいいミツバチも
デナリファームの従業員！

平岡さんは経営と営業を、野間さんは栽培を担当され、お一人は仕事を完全に分けていらっしゃいます。また、研修はトマト栽培を中心とする農業法人で受けられたにも関わらず、デナリファームで栽培されているのはイチゴとサツマイモ。「私たちの夢は『就農すること』ではなく、さらにその先にある『農業をビジネスとして成功させること』です。ですから、それぞれが経営のプロ、栽培のプロを目指した方がいいと判断しました。イチゴとサツマイモを選ん

農業の未来を切り拓き、
岩国市に必要とされる会社に。
岩国市に必要とされる会社に。

えられたそうです。すると野間さんは、数ヶ月も経たないうちに覚悟を決められ、一緒に農業を始めるために、お二人は退官され、平岡さんの最後の赴任地となる岩国市で1年半の農業研修を受けられました。そして、そのまま岩国市で農業法人を設立され、現在に至ります。

は、数ヶ月も経たないうちに覚悟を決められ、一緒に農業を始めるために、お二人は退官され、平岡さんの最後の赴任地となる岩国市で1年半の農業研修を受けられました。そして、そのまま岩国市で農業法人を設立され、現

在に至ります。

した結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イ

チゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だと思います」と海を眺めながら話してくださった平岡さん。最後に今後の目標をお聞きしました。「規模を拡大し、雇用も創出したい。今以上にIT化を進めて働きやすい環境をつくりたい。岩国市が誰にとっても住みよいまちになるよう、農福連携にも力を入れたい。やりたいことは本当にたくさんあります。それらを一つずつ実現し、岩国市に必要とする会社になれたら嬉しいですね」。そう力強く語る平岡さんから、深い農業愛、岩国市愛を感じられました。

ばだったそうですが、そのときから「いつか農業をする日のために」と、それ

ぞれ少しずつ資金を貯めていかれたそ

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だと思います」と海を眺めながら話してくださった平岡さん。最後に今後の目標をお聞きしました。「規模を拡大し、雇用も創出したい。今以上にIT化を進めて働きやすい環境をつくりたい。岩国市が誰にとっても住みよいまちになるよう、農福連携にも力を入れたい。やりたいことは本当にたくさんあります。それらを一つずつ実現し、岩国市に必要とする会社になれたら嬉しいですね」。そう力強く語る平岡さんから、深い農業愛、岩国市愛を感じられました。

ばだったそうですが、そのときから「いつか農業をする日のために」と、それ

ぞれ少しずつ資金を貯めていかれたそ

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だと思います」と海を眺めながら話してくださった平岡さん。最後に今後の目標をお聞きしました。「規模を拡大し、雇用も創出したい。今以上にIT化を進めて働きやすい環境をつくりたい。岩国市が誰にとっても住みよいまちになるよう、農福連携にも力を入れたい。やりたいことは本当にたくさんあります。それらを一つずつ実現し、岩国市に必要とする会社になれたら嬉しいですね」。そう力強く語る平岡さんから、深い農業愛、岩国市愛を感じられました。

ばだったそうですが、そのときから「いつか農業をする日のために」と、それ

ぞれ少しずつ資金を貯めていかれたそ

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

デナリファームのビニールハウスは、瀬戸内海が見下ろせる山の斜面にあります。「いい景色でしょ？ 岩国市は海も山もあって、気候もいい。完熟イチゴが届けられる距離に広島という大きな商圏もある。農業で成功を目指すには、ぴったりの場所だとpis

うです。

転機が訪れたのは平岡さんが37歳のとき。当時の赴任地は岩国市でした。

「次の転勤は子どもが小学校に上がったタイミングなので、転校を避けるには単身赴任を選ぶしかありません。け

れど、子どもの成長が著しい時期に一緒に過ごせないのがすごく残念で…。それがきっかけとなり、真剣に退官を

考えるようになりました」と平岡さ

ん。それから1年をかけて奥様と話し合い、野間さんにも就農することを伝

えた結果です。ちゃんと儲けて、豊かな暮らしを送っている姿を見て、若い人に農業が魅力ある仕事だと思つてもらいたいんです。そうなれば参入する人が増え、山口県の農業が盛り上がるはず」。

case 04

山口で はたらく

下松市

**だから未経験でも
飛び込んだ林業。
自然が好き、山が好き。**



山口県の林業は
手厚いサポートが
魅力！

東日本大震災を機に、奥様の故郷・下松市に移住し、ずっと憧れていた自然に携わる仕事「林業」に就かれた群馬県出身の平井崇剛さんに、山口県の林業の魅力や仕事のやりがい、未来への想いなどをお聞きしました。

震災を機に妻の故郷・下松へ。
自然に携わる仕事に転職。

下松市に移住して丸8年になる平井崇剛さんは、大の自然好き、登山好き。移住前はリゾート系のホテルに勤務されていましたが、以前から「自然に携わる仕事をしたい!」と思われていたそうです。

転機となつたのは、2011年3月の東日本大震災。震災の煽りを受け、勤務先のホテルで退職者が募られたことから、奥様の故郷へ移住することを決意。移住後しばらくは奥様のご実家

が営むレストランで働かれていたのですが、小さなレストランだったため別の職を探すことになりました。そして、選ばれたのが林業でした。

「自然に携われる仕事を探していましたところ、偶然見つけたのが現在の職場です。まずは直接電話し、その後、ハローワークを通じて面接を受け、入職することに。林業は未経験者でも大丈夫と聞きましたので、思い切って飛び込みました」。

入職後、平井さんは「緑の雇用」研修制度で3年をかけて林業関係の資格を取得し、OJTで技術を身に付けられました。

「林業は研修制度が充実しており、着実にステップアップできます。しかも、山口県は伐木のトップリーダーを育成する独自の研修もあり、より手厚いサポートが受けられるのが魅力です」。

何よりもやりがいは達成感。
美しい山を次世代につなぎたい。

「林業は危険を伴う仕事ですが私の天職。こうして自然の空気を吸いながら働くことが何よりの幸せです」と平井さん。危険を伴う仕事にも関わらず、続けられる理由も教えてくださいました。

「日々、本当にいろんな山に出会います。管理されていない山は昼間でも真っ暗。でも、そういった山を間伐すると太陽が差し込み、パツッと明るくなるんです。周りの景色も見渡せるようになります。ものすごい達成感があります」。

平井さんは林業を「循環産業」と言います。植え付けのために枝葉を整理する「地拵え」から始まり、「植え付け」や「間伐」を経て、最後の「主伐」までだいたい40~50年の年月を要し、地

伐えから間伐までを「保育」、主伐・搬出を「林業」と呼び、平井さんは後者の林業を担当されているそうです。

「自分で植えた木を主伐することはありません。次の世代に託し、次の世代が主伐し、そして植栽...と繰り返します」。

林業という循環産業に携わる中、平井さんは誇りや楽しさだけでなく、課題も感じています。

「木を伐り出すためには林道や作業道が必要ですが、それを作ることで山にダメージを与えてってしまいます。そういった部分を少しでも回避できるよう、技術を高め、次世代につないでいかたいです」。

「彼のように一緒に働いてくれる若者がもっと増えることを願っています」。

山口県の林業にやりがい、生きがいを感じていらっしゃる平井さん。空に向かつて真っ直ぐに伸びる木々を眺める平井さんの表情からは、自然や山への溢れんばかりの愛情が伝わってきました。



Kudamatsu

下松市



後輩とタッグを組み、主伐・搬出を主な業務とする「林業」を手がける。こまめにコミュニケーションを図りながら、一つひとつの作業を丁寧にこなす姿が印象的。「自然の中で働けることが何よりの幸せ。もちろん大変ですが心地よい疲労感です」と平井さん。



平井さんとともに働くのは、入職4年目の福田さん。二人に共通するのは「自然が大好き」という想い。「ずっと林業に携わり続けてほしい」と平井さん。若者の育成も平井さんの重要な役割だとか。



仕事道具の
チェーンソー





蒸したもち米粉を慣れた手つきで丸め、銅鍋を使って4時間かけて煮たあんこを包む。「1回分でだいたい50個作ります。忙しい時は先代を呼んで助けてもらっています」と明日香さん。



深い信頼関係で結ばれた、明日香さんと先代の尾崎さん。明日香さんはたった1年で、大福、かきもち、カステラなど全ての菓子作りを教わったそう。「この味を守り続けていきたいです」と明日香さん。



支えてくれるのは温かい人たち。
地域で愛されてきた
菓子店を承継。

明日香さんとご主人は、長野県や山梨県、九州などいろんな地域を巡つて移住先を探されたそうです。そんな時ご親戚から「阿東に古民家があるから住んでもいいよ」と声をかけられたのだと。現地に足を運ばれた明日香さんは、「のどかな田園風景となだらかな山並み、とにかく広い空。空気も水もきれいで『ここに住みたい!』と山口市阿東を気に入られたそうです。



するなら譲ってください」と申し出たんだ
です。最初は店舗のみ譲り受ける予定
でしたが、話はトントンと進み、事業
含めて丸ごと承継することになりました。
「明日香さんは約1年をかけ、先代
から菓子作りを学び、創業塾で経営に
ついて学ばれたそうです。創業から8
年、先代の尾崎さんは、今でも店が忙
しい時は手伝いに駆けつけてくれます。
「わしは何のためにやめたんかいのお」
と尾崎さんが笑え、「仕事は健康の
ためよ」と返す明日香さん。お二人
の軽妙なやり取りから、その親密さが
うかがえます。「いい人に引き継いで
もらえたと思っています。本当によく
やつてくれている。明日香さんには家
族に伝授するつもりで、菓子作りを仕
込みました」と尾崎さんは感心した様
子で明日香さんを見つめます。「憧れ
ていた田舎暮らしの先には、想像以上
の幸福が待っていました。豊かな自然
はもちろんですが、住む人たちも温か
い。まさに理想としていた暮らしです」
と明日香さん。明日香さんの夢は、大
好きな山口市阿東で90歳のおばあちや
んになつても大福を作り続けているこ



承継した
山口市阿東の味を
90歳になつても
守つて いたい。

守つて いたい。

田舎暮らしに憧れていた大阪府出身の明日香
加代さん。ご親戚の古民家がある山口市阿東に
移住され、豊かな自然と温かい人々に囲まれな
がら、菓子店「葉葉堂」を営む明日香さんに、菓
子店の店主になられた経緯や将来のことなどを
お聞きしました。



移住を決意させたのは
阪神淡路大震災。
安全な地域で暮らしたい。

大阪府出身の明日香加代さんが、山口市阿東に移住されたのは2006年のこと。移住から数年が経つ頃、縁あって地元の名店「おさき製菓」の菓子作りを承継されることになり、2014年に菓子店「葉葉堂」をオープンされました。

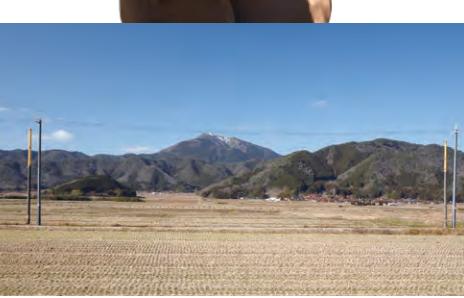
だつたそうです。「私たちは奈良県に住んでいましたが、震災から1週間後に神戸に行く機会があり、まちの惨状を目の当たりにしたことで、地震の際、建物がぎっしりと立つ都会は危険と痛感しました。しかも当時は物騒な事件が近所でもあり、「知らない大人に声をかけられたら逃げなさい」と子どもに教えるような状況。私が幼かつた頃は、知らないおばちゃんでも危ないことをしていたら怒つてくれたし、良いことをしていたらほめてくれた。お菓子をもらったことも。そんな場所ではないことが寂しかったことなどもあり、真剣に移住先を探し始めたんです」。

とだそう。楽しそうに話される明日香さんの表情は、未来への希望に満ちていました。

葉葉堂
住所：山口県阿東徳佐中 4485-2
電話：083-956-0303
営業時間：9:00～17:00
営業日：金・土・日・月曜
大福、かきもち、カステラなど手作りの
菓子を販売。安心・安全な素材を使
た菓子は、素朴でやさしいおいしさ
魅力。

明日香 加代 (あすか かよ) さん
菓菴堂 店主

大阪府出身。結婚当初から夫婦で田舎暮らしに憧れ、阪神淡路大震災をきっかけに本格的に移住を決意。2006年、ご親戚が改修された古民家に住むため、山口市阿東に移住。2014年、地域で50年親しまれてきた「おさき製菓」を承継する形で「葉葉堂」をオープン。店主として充実した日々を送る。



おいしい！がいっぱい。

豊かな自然に恵まれた山口には

本州の最西端に位置し、三方が海に開かれた山口県には、瀬戸内海と日本海の両方の海の幸を堪能できる魅力があります。また、東西に中國山地が走り、山の幸にも恵まれています。そんな食の宝庫・山口県で愛される、代表的な家庭料理を2つご紹介します。この2つの料理は、「マーチャン・カレッジ」のオンライン・ワークショップで、参加者の皆さんと一緒に作り、その味をしっかりと楽しんでいただきました。

Kawarasoba



Kawarasoba

けんちょう

ほっこり心も温まる
素朴な家庭料理「けんちょう」

「けんちょう」とは？

山口県の家庭で日常的に親しまれている料理です。豆腐と大根、にんじんを出汁、醤油、みりんで煮たシンプルな味わいで、ご飯のお供にぴったり。地域や家庭によっては、サトイモやこんにゃく、じいたけなどさまざまな具材が入ります。

鎌倉にある建長寺で作られていた豆腐と野菜を煮た料理が、「けんちょう」のルーツという説があります。建長寺の料理が、その当時の流通の拠点である下関市に伝わり、そこから山口県全域に広まつて食されるようになったと言われています。

「けんちょう」の歴史は？



オンライン・ワークショップ／山口県宇部市在住の料理研究家、影山みづきさんから、郷土料理の「けんちょう」と、瀬戸内いりこを生かした出汁の取り方を学びました。

瓦そば

某テレビ番組でブレイク!
下関発のご当地料理「瓦そば」

「瓦そば」とは？

山口県を代表するソウルフード。某人気ドラマに登場したことで一躍有名に！熱々の瓦の上に茶そばや錦糸卵、牛肉などをせて提供される料理で、温かい麺つゆで味わいます。レモンやもみじおろしで味の変化を楽しむのもおすすめです。

「瓦そば」の歴史は？

西南戦争時、熊本で薩摩兵が肉や野草を瓦で焼いて食べたという古老の話をもとに、下関市川棚温泉の旅館が考案。その味が評判となり、川棚温泉の名物料理になりました。現在は、山口県内各地にご当地グルメとして広まり、広く家庭でも食されています。



オンライン・ワークショップ／下関市の「熱血広報マン」永富さんと、地域おこし協力隊の岩男さんから、自宅で作るホットプレートの瓦そばをレクチャーしていただきました。

Recipe

●材料(2人分)
・茶そば…2人分
・卵…2個
・小ネギ…適量
・牛コマ肉…100g
・海苔…適量
・紅葉おろし…適量
・レモン…2~3スライス
・サラダ油…適量
・麺つゆ…適量
●準備するもの
・ホットプレート (フライパンでも可)

- 作り方
- ①茶そばをゆで、水でしめる。
- ②牛肉はすき焼き感覚で醤油、酒、砂糖などで少し甘めに味付けする。
- ③卵は好みの味付けで、錦糸卵にする。
- ④海苔は軽くあぶり、風味を出す。
- ⑤小ネギは細かく刻んで、麺つゆは温める。
- ⑥ホットプレートにサラダ油をひき、茶そばを炒める。
- ⑦炒めた茶そばに牛肉・錦糸卵・小ネギをのせ、最後にレモンの輪切りとその上に紅葉おろしをのせて完成。



Recipe

●材料(2人分)
・大根…200g
・にんじん…70g
・木綿豆腐…150g
・ごま油…大さじ1/2
A いりこ出汁…200g 〔薄口醤油…大さじ1と1/2 みりん…大さじ2〕

●下準備

・木綿豆腐は水切りをする。

●作り方

①大根、にんじんは5mm厚のいちょう切りにする。

②鍋にごま油を入れて熱し、①を入れて炒める。

③②の大根が透き通ってきたら、木綿豆腐を手でちぎって加える。木綿豆腐の水分を飛ばすように炒める。

④③の全体に油が回ってきたら、Aを入れ、大根とにんじんがやわらかくなるまで煮る。

⑤皿に盛り付けて完成。

いりこ出汁の取り方
【水だしこいこ出汁】
●材料
・水…500ml
・いりこ(まるごと)…15g
●作り方
容器の中に水といりこを入れる。冷蔵庫に入れて、6~8時間程度つけておく。
【水だしこいこ昆布出汁】
●材料
・水…500ml
・いりこ(まるごと)…10g
・昆布…5g
●作り方
容器の中に水といりこ昆布を入れる。冷蔵庫に入れて、6~8時間程度つけておく。



Kenchou



● 移住・定住の相談窓口

やまぐち暮らし総合支援センター

〒754-0041

山口県山口市小郡令和1-1-1

☎083-976-0277

<http://www.joby.jp/uji/>

やまぐち暮らし東京支援センター

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8階

認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内

☎03-6273-4887

<http://oidemase-t.jp/uji/>

やまぐち暮らし大阪支援センター

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田2-4-13

阪神産経桜橋ビル2階

☎06-6341-0755

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16100/oosaka/201603300001.html>

YY! ターンコンシェルジュ

〒753-8501

山口県山口市滝町1-1

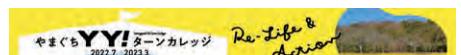
山口県総合企画部中山間地域づくり推進課内

<https://www.ymg-uji.jp/consultation/concierge/>



YY! ターン

「やまぐち」のY、「わいわい楽しい暮らし」のYを組み合わせた、山口県へのUJIターンを意味するキヤッチフレーズです。



「やまぐちYY!ターンカレッジ」を2022年7月～2023年3月にかけて開催しました。山口県にUJIターンをして活躍されている方等をゲストに招き、トークセッションを通じて山口県の“地域の今”をお伝えしました。イベントレポートも公開しています。

<https://www.ymg-uji.jp/consultation/yyturn2022/>

発行:「住んでみたいね!ぶちええ山口」県民会議

<https://www.ymg-uji.jp/>